

教科	芸術	科目	書道 I	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍 『書道 I (701)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 ①書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
 ②書によさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができるようにする。
 ③主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～⑧の計8時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則4時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
P. 2-15 用具・用材 姿勢・執筆法 漢字の書の成立と 変遷	1	① ② ③ ④	I・Ⅲ期	1, 2 3, 4, 5 7, 8 9, 10	P. 2-9 P. 12-15 P. 16-37 P. 38-58	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。
思考・判断・表現	中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書によさや美しさを味わって捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。書によさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							
P. 16-37 楷書の特徴 表現を比べよう 「九成宮醜泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「自書告身」	2	知識・技能	楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。					
思考・判断・表現	楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。楷書の古典の価値とその根拠について考え、書によさや美しさを味わって捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。楷書によさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							
P. 38-58 行書の特徴 「蘭亭序」 「争坐位文稿」 「風信帖」	3	知識・技能	行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。					
思考・判断・表現	行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。行書の古典の価値とその根拠について考え、書によさや美しさを味わって捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。行書によさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							
P. 59-73 草書の特徴 「真草千字文」 隷書の特徴 「曹全碑」 篆書の特徴 「泰山刻石」	4	⑤ ⑥ ⑦ ⑧	Ⅱ期	11, 12, 13 14, 15, 16 6, 19 17, 18, 20	P. 59-69 P. 76-101 P. 106-130 P. 132-138	知識・技能	草書・隷書・篆書の各古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。草書・隷書・篆書の各古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。	
思考・判断・表現	草書・隷書・篆書の各古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。草書・隷書・篆書の各古典の価値とその根拠について考え、書によさや美しさを味わって捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	自身の表現の意図に基づく表現、草書・隷書・篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。草書・隷書・篆書によさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							
P. 74-103 仮名の成立／仮名を書く準備／平仮名の単体 変体仮名／連綿 「蓬萊切」 「高野切第三種」 「関戸本古今和歌集」	5					知識・技能	日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。	
思考・判断・表現	仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。仮名の古典の価値とその根拠について考え、書によさや美しさを味わって捉えている。仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。仮名の古典の価値とその根拠について考え、書によさや美しさを味わって捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	仮名の書によさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。仮名の書によさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							
P. 104-138 漢字仮名交じりの書の変遷 生活に広げる 篆刻と落款	6	知識・技能	日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。					
思考・判断・表現	漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。創造された作品の価値とその根拠について考え、書によさや美しさを味わって捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	書によさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。篆刻・刻字によさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							

教科	芸術	科目	音楽 I	履修区分	必修	使用教科書	教育出版 『音楽 I Tutti+ (701) 』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。
音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。
音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
音や音楽と生活や社会との関わりについて考え、音環境への関心を高め、音楽の知的財産権を尊重する態度の形成を図る。
中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさなどを味わうだけでなく、文化的・歴史的背景など広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～⑧の計8時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則4時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導			単位認定 試験	観点別評価		
		開講番号	開講期	視聴票		観点	評価規準	
				NHK高校講座				教科書DVD
p. 12～15, p. 22～31, p. 45, 147, 149	1	① ② ③ ④	I・Ⅲ期	3, 11, 14, 21 4, 18, 33, 40 5, 12, 24, 25 6, 13, 26, 32	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	
思考・判断・表現	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。							
主体的に学習に取り組む態度	言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。							
p. 46～51, 58～59, 85, 88～91, 143, 147, 150	2	知識・技能	【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。					
思考・判断・表現	音色、速度、旋律、テグスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。音色、リズム、速度、旋律、テグスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。							
主体的に学習に取り組む態度	混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことや、曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管弦の響きに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。							
p. 87, 90～107, 132, 口絵③④	3	知識・技能	【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	音色、リズム、速度、旋律、テグスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。音色、速度、旋律、テグスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。							
主体的に学習に取り組む態度	雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管弦の響きに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。日本の楽器の奏法を学び、音色や奏法の特徴を感じ取ること、諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考えることに関心をもち、主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。							
p. 108～115, 巻末資料⑦～⑧	4	⑤ ⑥ ⑦ ⑧	Ⅱ期	7, 8, 15, 17 9, 10, 16, 22 23, 28, 29, 32 19, 20, 30, 34	知識・技能	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。		
思考・判断・表現	音色、旋律、テグスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。							
主体的に学習に取り組む態度	西洋音楽の源流を中世からルネッサンスの音楽の鑑賞と文化的・歴史的背景の学習で辿ることに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。							
p. 124～139, 口絵⑤,	5				知識・技能	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。		
思考・判断・表現	音色、リズム、速度、旋律、テグスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。音色、速度、旋律、テグスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。							
主体的に学習に取り組む態度	オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。							
p. 57 p. 61 p. 140～151	6	知識・技能	言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。							
主体的に学習に取り組む態度	英語の言葉の特性や曲にふさわしい発声、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。							